

大腿骨近位部骨折の患者様ならびにご家族の方々へ

**当院では、より良い治療を行うための研究
「薬剤師の積極的介入は大腿骨近位部骨折術後患者の
骨粗鬆症薬剤治療導入率を上昇させる」
を実施しています。**

薬剤師の介入による大腿骨近位部骨折の患者さんの骨粗鬆症薬物治療に対するについての研究を行なっています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）の記録（病名、検査値、お薬の指示や服薬状況等）を集計させていただきます。

研究の対象になる方は、当院で大腿骨近位部骨折の診断を受けた患者さん一部の方です。

2017年1月1日から2018年12月31日の間に、当院で大腿骨近位部骨折の診断を受けた20歳以上の患者さんを対象としています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して、済生会横浜市東部病院薬剤部土屋篤史のところに集められて解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。その場合は改めて倫理審査を受けます。この研究全体の結果を、研究終了後に、対象者に伝える予定はありません。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の当院連絡先担当者にお問い合わせください。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになんしても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2020年2月7日までに、下記担当者にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院薬剤部 OLS 運動器ケアチーム 土屋篤史
電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉3-6-1

研究責任者：済生会横浜市東部病院薬剤部 OLS 運動器ケアチーム 土屋篤史